

としょかんぽう

東北福祉大学図書館報

Tohoku Fukushi University Library News



TFUL News
2007.Dec.

福祉と人権

子ども教育学科長 北岡 侃

10月末に、ロシアのシベリアにあるクラスノヤルスク国立教育大学訪問の機会を得た。訪問の目的は、東北福祉大学とクラスノヤルスク国立教育大学との学術交流を行うための事前視察と打ち合わせということである。交流の内容については、障害児の教育、就学前教育、ボランティア活動、現職教員の研修、歴史と考古学、社会福祉関係、神経心理学分野等、多岐にわたるものである。今後互いに有益で共通する分野の共同研究や情報交換を可能な限り行っていく方向で検討がなされた。

私の関わっている障害児教育については、教育の制度の違いはあるものの共同して研究を推進する分野もあることが伺えた。ソヴィエトからロシアに政治体制が変わったことにより、障害児の保護者の強い要望を受けて軽度の障害児の統合教育の推進が図られるようになり、矯正教育という観点から障害の改善・克服に努め、将来社会の中で健常者とともに職業生活、社会生活を行っていけるようにするという状況ができてきたことである。このような現状から、クラスノヤルスク国立教育大学では、日本の障害児教育に学ぶとともに共同で教育研究をしていきたいということである。また、最近のロシアでは、社会保障のシステムを構築しているところなので、日本から多くを学びたいし、東北福祉大学の研究成果を学ばせて欲しいと話し

ており、ロシアでも福祉や人権に関する気運の高まりがみられると実感した。

帰国後、何気なしに本棚を眺めていると、数年前に求めて読みかじっていた松本峰雄氏の「福祉と人権」という本が目にとまった。改めて読み直し、人権、福祉について考えてみた。最近の日本社会の中で、人権に関する考え方に広まりや深まりがみられるようになってきたのか、福祉の施策が充実してきたのかという疑問がわいてきた。数年前と変わりがなかったり、福祉施策に関しては後退している様子さえみられるのではないかと感じた。

「人間は幸せになるために生まれてきた。」とされているが、自由に、平等に、幸せに生きたい願い、つまり人権が保障される世の中に近づいている実感があるだろうか。ロシアでは、ソヴィエト時代に虐げられた社会的弱者の人権を今回復しようとしているようである。日本では、自由ではあるが、平等にはほど遠く幸せを感じられない人が多くいるのが現実ではないだろうか。

ここで紹介する「福祉と人権」という本には、福祉や人権に関する筆者の考え方、家庭や学校における問題、障害者への偏見と差別、職業や外国人に関する差別等について、障害のある学生のレポート、日常生活で感じたこと等も数多く交えて記述されており、具体的な事実としても読み取ることができる。福祉や人権に関する基本的な考え方を整理する上でも、人権を尊重し、これからの福祉社会を創っていく上でも役に立ちそうな本である。



松本峰雄著
『福祉と人権』
明石書店，2002.11

所在：369 Ⅱマツ
学生閲覧図書



図書館利用シリーズ 6

キーワードを駆使して OPACを使いこなせ!

目録

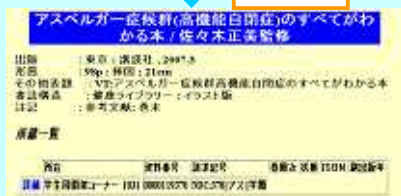
図書館では図書や雑誌を受入れた後、検索に必要なキーワードなどを作成し、登録します。図書と雑誌では目録の作り方が多少異なります。

検索

目録が作られた図書・雑誌は、書名や雑誌名、著者・出版者などをキーワードとして検索できるようになります。



検索結果



キーワードを元に検索され、その資料が図書館のどこに置かれているのか、所在を知ることができます。



インターネットで何かを調べるとき、みなさんはそれに関連した言葉や語句(検索語)を入力して検索しますよね。図書館のOPACで本を探するときも同じです。書名だけではなく、関連する語句で検索することによって、より多くの本を探し出すことができるのです。図書館では、検索の手がかりとなるキーワードなどを集めたものを目録と言います。では、目録がどのように作られているのか見てみましょう。

図書の場合

書名・シリーズ名・著者・出版者・件名(主題:資料の中心的内容)などから、検索するときの“キーワード”を作成します。そのため、書名に入っていない語句をキーワードとして入力しても検索できる場合もあります。

雑誌の場合

雑誌名・編者が変わらずに巻号が続いて発行される雑誌の場合、キーワード(検索語)となるのは雑誌名・編者・出版者(発行者)です。論題などはキーワードにはなりません。

例) 図書の場合



図書館サービス 蔵書検索

図書館で本や雑誌を検索するときに使うOPAC(Online Public Access Catalog)は、目録作業によってキーワードが作られることで利用可能となります。目録があることによって、図書館がどのような資料を持っているのか、そして、その資料が図書館のどこに置かれているのかが分かります。

様々な言葉がキーワードとして作成されているので、検索するときは言葉を単語単位に区切ったり関連語を入力したり、著者の姓と名を分けたりして、いろいろな方法で検索してみましょう。漢字をひらがな・カタカナに変えて入力しても検索できます。

図書館でアルバイトを始めて、二度目の秋が来ました。始めたばかりの頃、学部生は入れない書庫に初めて足を踏み入れた時は、学校の中に秘密の場所を見つけたようで、嬉しくて仕方がなかったことを思い出します。

今や書庫は私にとってすっかり馴染みの場所となりましたが、よく思うのは、こんなに本が沢山あるのに、人目にふれる本はほんの僅かだということです。書庫には貴重な本、手に取るだけで歴史を感じられる本や、ユニークな装丁やタイトルの本が沢山あります。どれも皆さんに利用されるのを今か今かと待っています。

なかでも私のおすすめは、洋書の絵本(NDC: 726.6)です。数は多くありませんが、装丁が凝っているものや、挿絵が繊細で可愛いもの、掌に乗るほど小さなものや仕掛け絵本など、見ているだけで幸せな気分になれるようなものばかりです。

毎日そんな本たちを眺めながら、もっと皆に見てもらえたらいいのにね、などと一人で考えたりしています。

書庫は、直接書架を見られない分、利用しづらい面もあるかと思っています。しかし皆さんが少しでも見たいと思った本はいくらでも出庫しますので、気軽に利用してくださいね。

たくさん本が、皆さんの手に取られるのを待っています。

(社会教育学科4年 佐藤千枝)



今年も中学生の職場体験が実施され、10/16～10/18と10/22～10/26の日程で、仙台市立五橋中学校と仙台市立吉成中学校から、それぞれ4名ずつ職場体験に訪れました。

僕はこの東北福祉大学図書館での職場体験でまず少し驚きました。まず仕事のことで仕事の種類、図書の数に驚きました。また分かった事は、仕事への取り組み方などが分かりました。このような貴重な体験ができてよかったと思いました。
五橋中学校 田部貴士

僕は、東北福祉大学図書館に職場体験に来て良かったと思いました。なぜなら、職員の方々にとっても明るく優しくしていただいたからです。それと、僕が目標としていた本に興味を持つことができたので良かったです。
五橋中学校 高橋親功

私は、この職場体験を体験するまで図書館の仕事の表の部分しか知らなかったのですが、裏での細かい作業を知る事ができてよかったです。3日間という短い間だったので詳しく知ることが出来なかったのが少し残念です。また図書館に関われる機会があれば、自分からやりたいと思いました。
五橋中学校 伊藤千晶

職場体験学習...ということで、3日間お世話になりました！体験中は部活に行けず、さびしい思いもしましたが、とても楽しかったです。本は好きなほうなので、本のおいにも困まれてウキウキでした。でも、今まで知らなかったようなお仕事ができた、貴重書庫など一般の方も入れない所に案内していただいたり、この3日間で貴重な体験ができたのではないかとと思っています。3日間ありがとうございました！
五橋中学校 石川万莉

図書館での仕事は予想以上に奥深く、おもしろい仕事でした。自分の背よりも高い本棚が何十と並んだ書庫は入るたびに圧倒され、この本を全て並べる仕事は大変だろうと思いました。
とても良い5日間でした。皆さんありがとうございました。
吉成中学校 相澤奈央

私は今年の職場体験で学んだ事があります。図書館はたくさんの人の力で成立していること、たくさんの段階を踏んだ上で貸出可能になることです。このことを思いつつ、図書館を利用したいと思いました。
吉成中学校 荒澤美紅

図書館の仕事は、予想していたものとは大きく違いました。ですが、全てが重要で大変な仕事でした。

この職業体験ではとても多くを学ぶ事ができたので、これから活かしていきたいです。ありがとうございました。
吉成中学校 前田杏子

職場体験初日はとても緊張してしまって、これから5日間やっていけるか心配でした。そのなかでも排架の作業は1つ1つの本棚から元の本の場所を探すのは大変でしたが、だんだん早く出来るようになりました。
5日間ありがとうございました。
吉成中学校 佐野彩野

アンケート結果

人間基礎論・図書館ガイダンス(9/26実施)において、ガイダンスの感想、図書館への要望・意見などを書いて貰いました。意見の多かったものについて回答を掲載します。その他については、図書館HP、図書館掲示板、学食のプラズマをご覧ください！

ガイダンスについて

<みなさんの声> → <図書館からの回答>

プリント等を配布して欲しい	次回はレジュメを用意します。
---------------	----------------

図書館への意見・要望

<みなさんの声> → <図書館からの回答>

図書館の利用方法が分かり辛い	『図書館の使い方』について各種パスファインダーを用意してありますので活用してください。各種ガイダンスを行っていますので、是非参加してください。申込は中央カウンターへ。
開館時間延長希望	前向きに検討します。
DVDの館外貸出希望	著作権の問題により、現時点では貸出不可となります。
居心地の良い場所を設けて欲しい	静かに学習できる場と、コミュニケーション可能な場との分離を検討中です。
増やして欲しい	一般書 DVD リクエストに応じて購入を検討します。本学図書館の資料収集方針の範囲内、積極的に収集していきます。
	後援会雑誌 来年に向けて、3種増やす予定です。
	スペース 閲覧席 トイレ PC設備 快適に利用できるように考慮していきますが、スペースが限られているので、将来的には新館建設を望むところです。

図書館からのお知らせ

冬期休業中の長期貸出

期間：平成19年12月3日(月)～

返却日：平成20年1月15日(火)

対象資料：図書 *ベストセラーも含む

冬期休館：平成19年12月27日(木)～平成20年1月4日(金)

その他、開館時間や休館日については、図書館ホームページや掲示板をチェックしてください。

登録会員制度について

本学の学生・教職員以外の方も図書館を利用できる、「登録会員制度」を始めました。今まで以上に、一般の利用者が多くなりますので、ご理解とご協力をお願いします。

お願い！

- ・地震や火災などの災害に備え、非難経路の確認をしておきましょう。
- ・貴重品の管理は、各自でしっかりしてください。3階には貴重品用ロッカーを用意していますので、ご利用ください。

編集後記

今回は、北岡先生に御協力いただきました。お忙しい中ありがとうございました。先生が訪問されたクラスノヤルスクはシベリアの中央に位置しています。馴染みのない都市ですが、本学との学術交流を通してこれから身近に感じられるようになっていくことでしょう。

図書館ガイダンスのアンケートで寄せられた意見・要望をもとに、利用しやすい図書館へと改善していきたいです。

この「としょかんぼう」も3年目を迎えました。これからも役立つ情報や図書館の様子などをお届けしていきます。

東北福祉大学図書館報「としょかんぼう」 6 2007年12月

編集・発行 東北福祉大学図書館 〒981-8522 仙台市青葉区国見1-8-1

TEL:022-717-3319 FAX:022-717-3309

E-mail: lib@tfu-mail.tfu.ac.jp

http://www.tfu.ac.jp/libr/ tful.html